

# ふくやま 草戸千軒ミュージアム ニュース

～第142号～

広島県立歴史博物館



HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY



広島県立歴史博物館開館 35 周年記念  
令和6年度 早春の展示

## 絵葉書にみる ふるさとの近代



現在の原爆ドームは、大正4年(1915)に「広島県物産陳列館」として建てられ大正10年(1921)に広島県立商品陳列所、昭和8年(1933)に広島県産業奨励館と改称しました。この絵葉書は商品陳列所と記載されており、この間の製作と考えられます。

令和7年1月から開催する早春の展示「絵葉書にみるふるさとの近代」では、当館が所蔵する絵葉書を紹介します。この絵葉書は、購入したり、寄贈を受けたりして当館が収集したもので、約3,000点あります。

これらの絵葉書の中には、明治時代後半から昭和時代の第二次世界大戦前、そして戦後すぐまでの広島県内の様子を撮影した写真が数多くあり、当時の風景や風俗、観光スポット、行事などを伝えています。展示では、これらの絵葉書の中から約200点を厳選し、現在の風景と比較しながら紹介します。

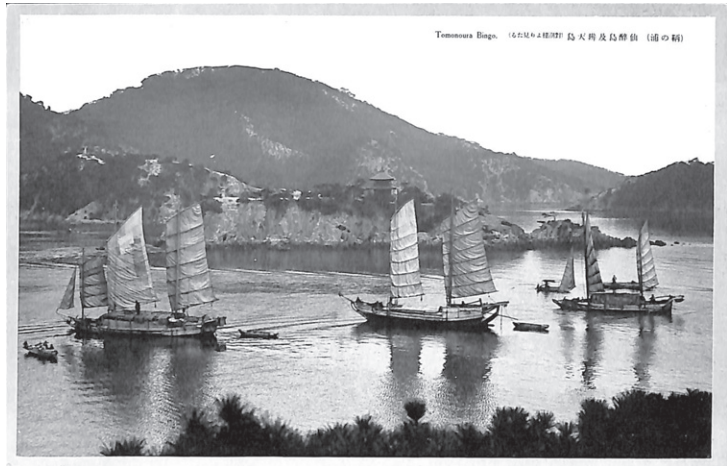
このニュースでは、そのいくつかを紹介します。

展示の紹介は次のページへ ▶▶

現在、国の名勝に指定されている「鞆公園」は、弁天島(写真右のお堂の建つ島)やその後方の仙酔島などから構成されています。

江戸時代の中頃、朝鮮通信使は福禅寺対潮楼から見たこの景色を「日東第一形勝」(日本で最も美しい景色)とたたえました。

今では見ることのない帆船が浮かぶ景色は趣があり、郷愁を誘いますね。この絵葉書も大正7～昭和8年(1918～33)頃に製作されました。



(鞆の浦) 仙酔島及び弁天島 (対潮楼より見たる)



尾道市立高等女学校第四回秋季運動会 (其三)  
(タンツライゲン三年甲乙)

尾道市立高等女学校は、明治42年(1909)に開校しました。写真左は大正4年(1915)10月に開催された「第四回秋季運動会」を記念する絵葉書です。三年生による「タンツ ライゲン」という二人一組で踊る円舞の様子の一コマ。運動場の外側の斜面にも、観客がいます。

尾道市立高等女学校は、大正7年(1918)に広島県立尾道高等女学校と改称し、「県女」と呼ばれました。現在の広島県立尾道東高等学校の前身です。



広島県立歴史博物館開館 35 周年記念  
令和6年度 早春の展示

# 絵葉書にみる ふるさとの近代

会期 令和7年1月24日(金)▶3月23日(日)

- 開館時間 / 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 月曜日(ただし、2月24日は開館)、2月12日(水)～14日(金)、2月25日(火)
- 入館料 / 一般 290円(220円)、大学生 210円(160円)、高校生以下及び65歳以上無料  
※( )は団体料金(20名以上)
- 関連行事

(1) 開催記念講演会

開催日	演題	講師
2月8日(土) 午後2時～午後3時30分	絵葉書から見える広島近代	西向 宏介氏(県立文書館総括研究員)

(2) 展示解説会

2月2日(日)・3月2日(日) いずれも午後1時30分～午後2時30分

# 頼山陽史跡資料館 展示の御案内

特集展 令和6年 12月6日(金)～令和7年 1月13日(月・祝)



## 自然の息吹を描く ～田中頼璋の山水～

明治・大正期に活躍し、南画の幽雅味(上品で趣深い味わい)と円山派の写実性との融合を目指した日本画家、田中頼璋(1866～1940)。文展(文部省美術展覧会、現在の日展の前身)で受賞を重ね、画壇の重鎮として存在感を発揮しました。当館ではこれまで2回にわたって回顧展を開催し、その画業を紹介してきました。

日本画の革新が叫ばれる中、旧派の画家とされた田中頼璋は、次第に時代に取り残されていきます。関東大震災の後には、生まれ故郷の島根県市木(現邑南町)に近い広島に拠点を移し、昭和初期の広島の日本画壇において指導的な役割を果たしました。その功績により、広島美術史を語る上で欠かすことのできない人物となりました。

本展では、山水画の名手として一世を風靡した田中頼璋の山水画を紹介し、その卓越した筆技と描写力に迫っていきます。なかなか紹介されることの少ない作家の作品です。この機会にぜひご覧ください。

秋山読書図 田中頼璋筆 絹本着色 個人蔵

紅葉が秋の深まりを感じさせる情景に屋内で読書にいそむ人物を配することで、脱俗や隠逸を理想とする世界を巧みに表現しています。

- 会場 / 頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5-15)  
TEL:082-298-5051
- 開館時間 / 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 月曜日(1月13日は開館)、12月28日(土)～1月4日(土)
- 入館料 / 一般200円(160円)、大学生・150円(120円)、  
高校生以下及び65歳以上無料※( )は団体料金(20名以上)
- 関連行事 / 12月14日(土)、1月11日(土) いずれも午後1時30分～  
(通常の入館料が必要です。)



▲頼山陽史跡資料館  
ホームページ

RAISANNY O U

# 博物館 掲示板

## 弥生時代に関する行事が盛りだくさん!!



奈良県桜井市・田原本町共催シンポジウム  
**卑弥呼のクニを探る**  
 ー邪馬台国時代の瀬戸内とヤマトー



開催日：令和7年2月1日(土)  
 会場：広島県立歴史博物館 講堂  
 詳細は当館ホームページ又はXでお知らせします。



ミニ展示  
**神辺平野の弥生時代**



開催日：令和7年1月21日(火)～  
 4月20日(日)  
 会場：広島県立歴史博物館 通史展示室内

## 考古学講座

※いずれも午後2時～午後3時30分

回数	演題	講師	開催日
第1回	卑弥呼の王権と公孫氏・魏王朝	国立歴史民俗博物館 教授 仁藤 敦史 氏	2月15日(土)
第2回	邪馬台国を支えた国「伊都国」	糸島市立伊都国歴史博物館 前館長 角 浩行 氏	3月1日(土)
第3回	3世紀の広島と愛媛	松山市考古館 館長 梅木 謙一 氏	3月15日(土)

### ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第142号

編集・発行

令和6年11月19日



ふくやま **草戸千軒ミュージアム**  
 (広島県立歴史博物館)  
 HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4-1  
 TEL 084-931-2513 FAX 084-931-2514  
 e-mailアドレス rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp  
 ホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>  
 X(エックス) [https://twitter.com/hiroshima\\_prhk](https://twitter.com/hiroshima_prhk)



▲ホームページ



▲X(エックス)